

北海道大学体育会山スキー一部山行報告書

記入者 チーフ 杉田

(目的) 第25回無意根スキーツアー (目的地) 無意根山

(期間) 2001.2.23~2001.2.25 (地図) 無意根山 1/25000

(人員) 部員 12名

杉田 想土	HUSV3	金森 晶作	HUSV4
奈良 靖	HUSV4	渡邊 祐輔	HUSV4
藪内 かおり	HUSV4	大杉 友	HUSV3
黒崎 康介	HUSV3	穴倉 優二	HUSV3
松田 博行	HUSV3	森岡 陽太郎	HUSV2
山口 達	HUSV2	三浦 康	HUSV1

お客さん 21名

樋口 博	男	70	無職
栃木 亀男	男	68	無職
川村 静夫	男	66	無職
長谷川 佳代子	女	65	主婦
小林 昭一	男	63	?
笹波 恵三	男	63	自営業
石黒 圭男	男	60	無職
村上 旭	男	59	公務員
渡辺 侃	男	54	会社員
三浦 節子	女	52	看護婦
菊地 直哉	男	49	教員
小田 和彦	男	48	自営業
斎藤 厚子	女	45	パソコンオペレーター
植村 隆	男	42	朝日新聞
塚本 智明	男	36	札幌市役所
菅野 恵介	男	32	会社員
関 有希子	女	30	フリーター
黒川 和久	男	28	北海道新聞(取材)
岡田 純	男	21	大学生
石原 佳和	男	21	大学生
五香 麻衣子	女	20	大学生

(男16名 女5名 リポーター3名 平均年齢 47.2才)

(予定の行動)

- | | |
|---|-----------------|
| 1 | 札幌 = 薄別 - 無意根小屋 |
| 2 | ピークアタック + 周辺スキー |
| 3 | 周辺スキー - 薄別下山 |

(実際の行動)

2/23 快晴

札幌 (8:30) = 薄別 (9:30-10:00) - 無意根小屋 (14:20→16:20)

チーフの私も含むロッジ住人が遅刻。よくないです。

雪はしまっていて三月末から四月並。

2/24 晴時々曇り

周辺スキー

シャンツェ方面へ3班、長尾方面へ2班。

シャンツェ班はピークを狙いテラスまであがったが、そこで曇りだしてきてしまったので無念の引き返し。

長尾班はピークまでいく。

雪は浅く新雪スキーは楽しめなかったが、滑りやすくてスキーのあまり上手でない人にはかえってよかったかもしれない。

2/25 晴時々曇り

壁下でスキー + 下山

前日やや降雪があったため、固い層の上に軽く雪が積もり、深雪ではないがそれなりに楽しい新雪スキーができた。

スキーの上手でないお客さん3名をエキスパート班として、昼飯・テントを持って朝から別行動で下山としたが、これはお客さんにとってもよかったと思う。

(係)

チーフ(杉田)記録が残っていないことが多いのでちゃんと書きましょう。

会計(渡邊)参加費は部員3000円、お客さん9000円。

エッセン(藪内)

保険・交通・名簿・新聞(宍倉)朝日新聞に大きめの記事が載った(前回と今回参加した植村さんの力)。また北海道新聞にも掲載された。バスは時計台バスで43000円+消費税。

写真・DM・医療(奈良)写真の発送が例年遅れがちなので早めに。今回は4月中旬に発送完了。

装備・企画（三浦・森岡）装備は女性用が不足気味。ビーコンは阿部氏に借りた。慣れた方は貼り付けシールでもかまわないが、スペアの取り付けシールは持っていったほうがいい。説明会で装備を割り振ろうとすると時間が足りずとても大変なので、担当者だけ決めて貸し出しの打ち合わせなどは後日にしてもいいと思う。振り分けは、係のほうで誰が、誰に何を借りるのかをしっかり振り分けてしまったほうがよい。今回はじめは、表だけ作り勝手に個人アタックで借りるようにしたので、少々混乱した。企画は特にしなかった。

説明会（金森）場所をとるのを早めにしたほうがよい。今回はいつものところがとれずに地下の少し小さめの部屋（集会室10）になった。また、部屋を借りる申し込みは今年からクラーク会館ではなく教養のほうで行うようになったようだ。今回は説明会に40人近くの人が集まってしまったため、抽選を行い18名に絞った。抽選は公平に行うしかないでしょう。もれた方にも番号を付けてキャンセル待ちとした。後でスタッフが増えたので2名増やし、また黒川さんは北海道新聞の取材ということで特別枠として、結局お客さんは21名になった。例年時間が足りず撤収が遅れて怒られるので気をつけましょう。

説明会パンフ・スライド（大杉）スキーツアーのスライドがあまりなく苦労したが実はルームにころがっていたようだ。また今回スライドを撮ったので次回から利用してください。

当日パンフ・小屋・地図コピー・バスレク（松田）

情宣（山口）新聞の力で説明会には40人近くの人 came。しかし学外の人ばかりで、中高年の方が多くなってしまった。もっと若い人を集める工夫が必要。「北大スポーツ」、「北大新聞」、「えるむ」など学内のメディアを利用したらよいのではないかと思う。その場合は早めの準備が必要でしょう。

（全体で）

雪質はよくなく、深雪スキーを楽しんでもらうことはできなかったが、3日目にはそこそこの新雪が楽しめ、また、天気には恵まれ、結構行動もできてよかった。

その後北海道新聞に結構大きな記事が載り、来年も参加者不足で困ることはないと思うが、中高年の参加者ばかりになってしまうのはどうかと思うので何とかして学内の人を集められるようにがんばりましょう。

また、お客さんからの意見として、もっと参加型の企画にしてはどうかという案があった。たとえばエッセンなどをみんなで作ったほうが楽しいのではないかと思う。もちろんいやな人にやらせる必要はないが、主婦の方などは僕らより手際もよいだろうし、お互いに楽しめると思う。同じ意見が過去にも出ていたと思うので来年はぜひ実行してください。